

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年9月27日(2022.9.27)

【公開番号】特開2022-109827(P2022-109827A)
 【公開日】令和4年7月28日(2022.7.28)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-137
 【出願番号】特願2021-5386(P2021-5386)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年9月14日(2022.9.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

第1通路と、

前記第1通路と隣接する第2通路と、

前記第1通路を流下する遊技球が当接し、前記第1通路と前記第2通路との間に配置された壁部材と、を備え、

前記壁部材の上方には、遊技球の直径より大きい空間が形成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0004
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0004】

30

しかしながら、従来、遊技機は、遊技球の球詰まりを解消することが求められている。

【手続補正3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

40

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、遊技球の球詰まりを解消することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0006
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0006】

上記の目的を達成するために、本発明は、以下のような遊技機を提供する。

50

本発明は、
第 1 通路と、
前記第 1 通路と隣接する第 2 通路と、
前記第 1 通路を流下する遊技球が当接し、前記第 1 通路と前記第 2 通路との間に配置され
た壁部材と、を備え、
前記壁部材の上方には、遊技球の直径より大きい空間が形成されていることを特徴とする
遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、遊技球の球詰まりを解消することができる遊技機を提供できる。

20

30

40

50